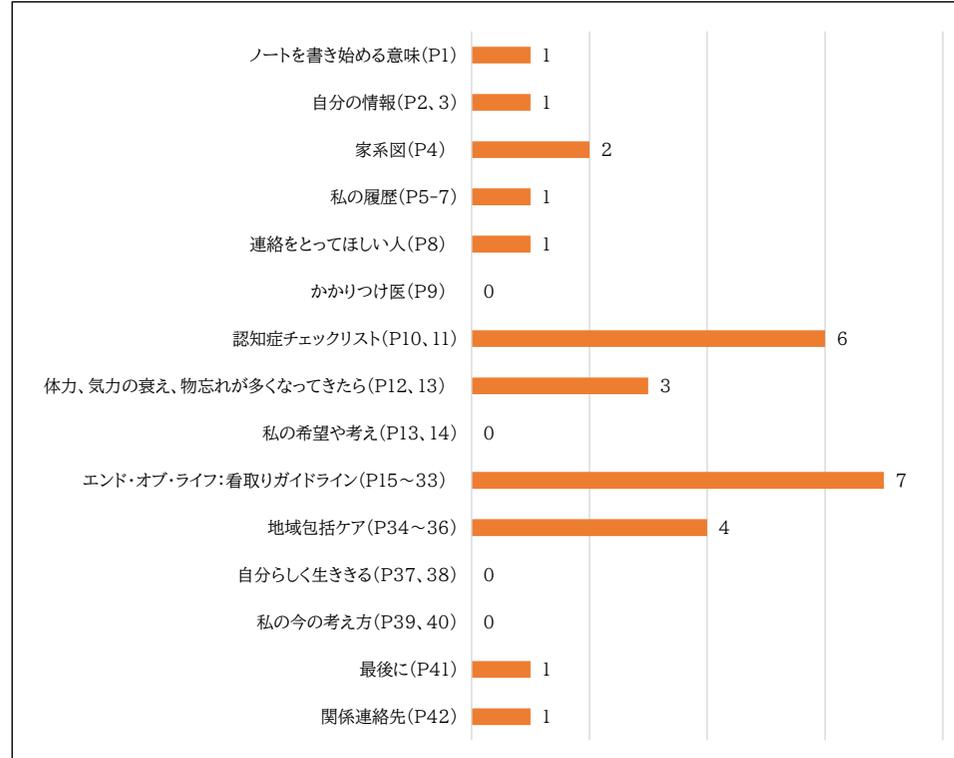


令和5年度 エンディングノート作成に関するアンケート結果

資料4

1 エンディングノート作成にあたり記載が必要ないと考える項目

	件数	%
ノートを書き始める意味(P1)	1	4%
自分の情報(P2、3)	1	4%
家系図(P4)	2	7%
私の履歴(P5-7)	1	4%
連絡をとってほしい人(P8)	1	4%
かかりつけ医(P9)	0	0%
認知症チェックリスト(P10、11)	6	21%
体力、気力の衰え、物忘れが多くなってきたら(P12、13)	3	11%
私の希望や考え(P13、14)	0	0%
エンド・オブ・ライフ:看取りガイドライン(P15~33)	7	25%
地域包括ケア(P34~36)	4	14%
自分らしく生きる(P37、38)	0	0%
私の今の考え方(P39、40)	0	0%
最後に(P41)	1	4%
関係連絡先(P42)	1	4%
計	28	

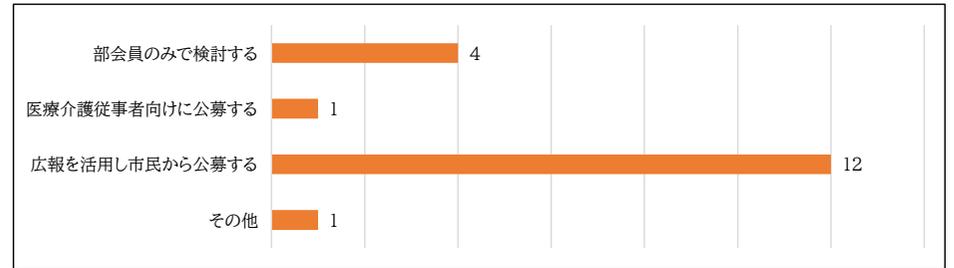


2 上記、選択した理由(別紙参照)

3 エンディングノートに追加で記載が必要な項目(別紙参照)

4 エンディングノートの名称を決める方法

	件数	%
部会員のみで検討する	4	22%
医療介護従事者向けに公募する	1	6%
広報を活用し市民から公募する	12	67%
その他	1	6%
計	18	100%



2 エンディングノートを作成するにあたり必要がないと考える理由	
P1	残される家族が介護、相続を迷いなく行う上で不要と思う
P2-3	番号記載は効果的か検証必要。細かいことまでは不要
P4	<ul style="list-style-type: none"> ・次の項目に連絡を取ってほしい人リストがあるため、内容としては重複する部分がある ・家族が少ない方などは書きたくないかも。思い出すことが出来ない方もおられるかもしれない
P5-7	<ul style="list-style-type: none"> ・考えることが多くなり焦点がぶれるのではないか ・思い出せない方や楽しい思い出が少ない方、過去を思い出したくない方もいるのではないか
P9	<ul style="list-style-type: none"> ・数値による説明部分は変動があり、考え方も時代で変わるため不要ではないか ・かかっている病院だけでいいのではないか
P10-13	<ul style="list-style-type: none"> ・最期の意思決定に絞るなら、認知症、体力の衰えは不要 ・認知症チェックリストを残すのであれば、チェックした日にちが書き込める場所が必要 ・チェックを行った結果、認知症の疑いが強いとなれば不安ばかりが先行しないか ・ノートを記載するきっかけが認知症を心配・疑ったらというメッセージになるおそれがあるので、P12を先、P10を後にしてはどうか ・意思決定を具体的にする意味では、P12-13も必要だが、「A～Fなどの選択肢に○をつける」というリード文と記日付が必要
P15-33	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り時期の変化はこの時期に不要。個人差が大きいのと、すべて現れない。 ・終末期になるとこの情報提供は医師、看護師からある。情報の与えすぎは不安につながるのではないか。 ・暗い、重い気持ちになる。 ・エンディングノートに組み込むのではなく小冊子のようにまとめて、希望者やエンディングノート作成者の家族に渡してはどうか。 ・内容をもっとシンプルにしてはどうか。 ・旅立ったあとに起こる手続き等の情報はあった方がいいと思う
P34-36	<ul style="list-style-type: none"> ・介護部分はメインなので、他で周知できるのではないか ・分かりにくい(一般向け?) ・自身が受けているサービスの内容ではなく、一般的に受けたい・受けられるサービス内容の紹介のため
P42	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに何を相談したらよいか分かりにくいので、主な相談内容の記載が必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・エンディングノートの目的の共通理解が必要 生前に十分な意思疎通ができなかった家族が見た時に、ご本人の考えや情報が伝われば良いのではないか どう生きて死にたいかというエンディングノートの記入目的が薄れてしまわないか 人生の最終段階は必ずしも高齢になってから訪れるものではないので前向きなものとして作成したほうが受け入れられやすい 「書くノート」か「読む(知識が多い)ノート」か ・内容が盛りだくさんで量が多い 認知症チェックリスト、看取りガイドライン、地域包括ケア等は別冊で渡してはどうか ・エンディングノートに広告要素は不要

3 エンディングノートに追加で記載が必要な項目	
枚方市	P1 前か後に目次が必要 P2-3 カードや口座、サブスクのパスワード記入欄 P4 菩提寺(社)、宗派、先祖代々の墓の場所 P5-8 各項目に記載日 ・一度にすべてを書けないと思う。また、情報更新があるのでその日を記載できるように ・A4の1/5～1/8程度の紙面を使って、記載例として、見え消し・見え消した日を記載
つくば市 (堺市)	P9 医療情報 P11 毎月の引き落とし情報 P12～13 資産情報 P20～22 葬儀、お墓・埋葬、仏壇 P24 見落としチェック *自分史の欄は枚方より堺市の方がみやすい P34 各種相談先一覧 ・レイアウトが見やすく、書きやすそう ・各項目ごとにキーワードがあり、分かりやすい
奈良市	P2 ノートの使い方 記入日の記載があることでいつの思いなのかが分かりやすい P3 目次 P13 判断能力低下 P14、15 葬儀のこと P18、19 大切な人へのメッセージ ・誰もが自分事として考えられるようなライトな感じになると将来の高齢者に早期に普及啓発できるものとなるのではないか
その他	・亡くなった後の手続き関係(葬儀関係や公的な手続き、いつまでにしないとイケない等) ・着るものの準備 ・医療の希望 臓器提供の意思確認(ノート活用を想定している年齢層や看取りのみを対象にするのであれば不要かも) ・ACP ・読み手の主体が記載する本人か、それを取り巻く家族かがはっきりしない。 ・医療従事者が本人および家族に説明する書き方になっているので統一した方がいいのではないか。